

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Prediction of recurrence in incompletely excised basal cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル	不完全切除された BCC における再発予測	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ10-5	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID	4001206	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Plast Reconstr Surg	
	雑誌 ID		
	巻	75	
	号	6	
	ページ	860-71	
	ISSN ナンバー	0032-1052	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1985	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Dellon AL	Division of Plastic Surgery at Johns Hopkins Hospital
その他著者 1		DeSilva S	
その他著者 2		Connolly M	
その他著者 3		Ross A	
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	不完全切除された BCC における再発予測因子として組織学的基準を検討した	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	大学病院と community hospital	
	対象者	BCC 不完全切除例(大学 128 例と Community hospital 125 例:1977～1978 年)のうち、再発がみられなかった 33 例と再発がみられた 24 例	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)	病理学的に不完全切除と診断	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	5 年再発率	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	腫瘍辺縁の palisading の中に 75%以上の不規則な腫瘍索が含まれている場合は、その後 93%で再発がみられた。一方、不規則腫瘍索が 25%以下なら 5 年間での再発はみられなかった。不規則腫瘍索が 75%以上という基準は、他の組織学的な多様な条件の 39 倍もリスクが高くなる ($P<0.001$)。25～75%の中間群で、宿主の反応が弱い場合のリスクは 4 倍となった ($P<0.05$)。その他では潰瘍があれば再発率が 2.8 倍 ($P<0.01$)、SCC への分化があってもリスクは増加しなかった。	
	結論	BCC において断端陽性であった場合の再発のリスクになり得る要因を個々に検討した。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV) BCC における不完全切除例で、組織学的な再発リスク要因を検討した有用な論文である。	